

第3回 学生・教職員FD活動交流会の実施結果について

学生・教職員FD活動交流会では、本学のFD活動への学生参画の促進と大学教育の活性化を図るために、本学においては、「優れた授業は教員だけでなく、参加するすべての構成員の高い意識があつて、はじめて成立するものである」ことを念頭において、教員と学生が学び合う環境を実現している授業を選定する仕組みを、学生と一緒に模索している。

《開催日時・場所》

平成31年2月14日（木）13：10～14：40

総合研究棟1階オープンセミナールーム

《会議形式》 ミーティング

《参加者》	12名	(内訳)	大学院学生	2名
			学部学生	1名
			教員	6名
			事務職員	3名

《実施内容》

1. 授業評価の検証について

現在実施している学生による授業評価項目について、本学の授業改善の具体的指針となるべく、今年度から評価項目が変更されており、今後の本学の授業の質向上に寄与するため、意見交換を行う旨の説明を行い、実施手順を確認。

2. 意見交換について

①授業評価項目についての意見、②現在の授業評価の実施方法についてどう思うか、③授業評価への提案(観点・方法など)の3点に基づき、グループ毎に意見交換を実施し、グループ毎に発表を行い、全体で意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

【意見交換】

①授業評価項目についての意見

- ・新しく見直したばかりなので、2～3年は様子見をすべきでは。
- ・「理論と実践の融合」を学生に聞かれてもよく分からない。
- ・授業の予習復習の時間は大事だと思うが現実的ではない。
- ・12（私は、事前準備をして臨み、授業内容を振り返り自ら理解深める努力をした。）と15（毎回の授業の予習・復習にかけた時間は平均どれくらいですか）は似ているのでは。
- ・良い教材が分かりやすいとは限らない。

- ・授業評価項目は、満足度一つだけで良い、その方が教員が自分で改善を考え実施できるのでは。
- ・マークして満足してしまい、自由記述まで手を出さないことがある。
- ・授業評価をそもそもなぜするのか分からない。

②現在の授業評価の実施方法についてどう思うか

- ・自由記述の時間がない。項目が多いから自由記述する時間が減る。
- ・受講生が一人では回答者が分かってしまう。
- ・授業評価が活かされるのはどんなに早くても来年になる。

③授業評価への提案(観点・方法など)

- ・学生へフィードバックして欲しい。
- ・授業評価の結果がどうなるのか学生にもっと周知を。
- ・教員が授業評価アンケートの回答を学務課へ提出することが不安に思う。
- ・紙による授業評価アンケートの回答も、電子媒体による授業評価アンケートの回答も良い。
- ・授業の途中で評価をしても良いのでは。
- ・学部生と院生で考え方が違う。
- ・授業の最後で評価するのではなく、途中で一度実施しても良いのでは。
- ・授業の最後で評価しても自分の受講する授業では反映されないのでどうでもいい。

3. 次回開催について

開催する場合は、事務局から日程照会を行う。